



スイスと米国ワシントン州  
におけるワインツーリズム  
に関する研究

京都大学  
川崎 訓昭

2017年8月20日

### 本日の流れ

- 今回の概要  
(Oenoviti International、ASEV 68<sup>th</sup> National Conferenceについて)
- 意見交換相手の説明  
(国際的なワイン研究に関するネットワークについて)
- スイスと米国ワシントン州のツーリズム資源について  
(観光資源、料理、文化等のツーリストを呼ぶ資源)


### Oenoviti Internationalのメンバー

京都大学  
小田 滋晃  
川崎 訓昭

山梨大学  
奥田 徹 先生  
鈴木 俊二 先生



### 日程



- 5月12日(金)と13日(土)  
伊丹→羽田→パリ→ジュネーブ
- 5月14日(日)  
ラヴォー地方のワインツーリズム資源
- 5月15日(月)  
シャモニー地方のワインツーリズム資源
- 5月16日(火)と17日(水)  
6th Symposium of OENOVITI
- 5月18日(木)と19日(金)  
ジュネーブ→パリ→成田→羽田→伊丹

### OENOVITI INTERNATIONAL

- OENOVITI INTERNATIONAL は、ブドウ栽培とワイン醸造に関する高等教育および高等研究を行う機関の国際ネットワーク
- ブドウやワインの諸問題を、世界的な規模で解決するために、研究と教育の両面から協力することを目的として作られた組織
- ボルドー大学が中心となり、世界17カ国の機関が参加。
- 日本からは、山梨大学が参加。
- 現在、55の大学・研究機関が参加している。
- 今回、京都大学農学研究科も加盟申請を行い、小田教授が加盟に向けたプレゼンテーションを行う。

### OENOVITI INTERNATIONAL

- OENOVITI INTERNATIONAL は、ブドウ栽培とワイン醸造に関する高等教育および高等研究を行う機関の国際ネットワーク
- 現在、11のワーキンググループが活動中
  - 気候変動
  - ブドウ栽培
  - スパークリングワインの製造
  - バイオ技術
  - ワイン醸造
  - 生食用ブドウの栽培
  - 病害虫の管理
  - ワインツーリズムとワイナリー経営
  - ワインと健康
  - 技術の普及
  - 国際的な研究ネットワークの発展

### OENOVITI 6<sup>th</sup> International Symposium

- ・参加者数 世界各国から70名の研究者
- ・山梨大学鈴木教授が甲州ワインについて報告
- ・小田教授が京都大学におけるワイン研究の歴史及び日本のワインツーリズム、ブドウ産地維持に向けた報告
- ・ワインツーリズム部会の部会長に小田教授が任命される
- ・2019年度の開催地として日本が候補に上がる

### OENOVITI INTERNATIONAL (5月16・17日)

### OENOVITI INTERNATIONAL

### OENOVITI INTERNATIONAL

### OENOVITI INTERNATIONAL

### スイスワインについて

主要な品種:  
 白: シャスラー (Chasselas)  
 赤: ピノ・ノワール (Pinot Noir)  
 ガメイ (Gamay)

主要な産地:  
 ①ヴァレー地区  
 ②ラヴォー地区  
 ③ジュネーブ地区



### 日程



6月20日 (火)  
 閉空→サンフランシスコ空港→Davis  
 21日 (水) と 22日 (木)  
 UC Davisの Department of Chemical Engineeringの  
 Roger Boulton教授  
 UC Davisの Department of Viticulture and Enology  
 のHildegard Heymann教授  
 23日 (金) と 24日 (土)  
 NapaとSonomaのワイナリー経営の調査 (Highlands  
 Wineryなど)  
 25日 (日)  
 NapaからSeattleに移動  
 26日 (月)  
 ワシントン州のワイナリー調査 (Chateau  
 Ste. Michelleなど)  
 27日 (火) と 28日 (水) と 29日 (木)  
 68th ASEV National Conferenceに参加 (3回の  
 Board Meetingを含む)  
 30日 (金)  
 Seattle→成田→伊丹

### ASEV 68<sup>th</sup> National Conference



### ASEV 68<sup>th</sup> National Conference



### 日米のBoard Meetings with Lunch



### 学会のBoard Meetings with Dinner



### 日米のBoard Meetings with Dinner



American Society for Enology and Viticulture本部



25

ソノマのワイナリー (Rochioli)



ワシントンのワイナリー (Chateau St. Michelle)



### 出張を通じて

- 国際的なワイン研究ネットワークへの参加を通じて、今後他国の研究者との意見交換をより密にし、ワイン産業の発展に寄与したい。
  - そのためにも、日本国内のワイン研究ネットワークの整備が必要不可欠
- 特にワインツーリズム関係では、フランスだけではなくスペイン・ポルトガル・スイスなど他の国々の研究ネットワークが形成されてきた
  - 日本の他大学(和歌山大学など)とのさらなる連携を図っていく必要がある。
  - 南仏実習に参加した学生の留学先へと発展していく可能性。
- 若い学生の自由な発想や旺盛な研究意欲にさらなる期待をしたい
  - ASEVの若手研究者ネットワークも盛んにやり取りが行われている